

ふれあい通信



長南町長
平野 貞夫

2年ぶりの「うごく町政教室」は、予想を上回る多くの皆様にご参加をいただき、実施できました。今回は、東京家政大学を訪問し、大学の礎を築いた本町出身の渡邊辰五郎氏の足跡と偉業を学ぶというものです。

渡邊辰五郎は、明治初期の動乱の時代に、自らの卓越した裁縫技術を武器

に、まだまだ黎明期であつた日本の女子教育に多大な影響を与え、功績を遺した郷土の誇る偉人であります。教室は、渡邊辰五郎の偉業に触れながら、大学を身近に感じ、大学との交流の輪が広げられるよう、講義や見学を中心進めました。校祖の生誕地からの訪問ということで、学校側も親切、丁寧に応対していただき、参加者の皆様にも大変好評でした。

元来長南町では、多数の教育者を輩出しており、近隣では本町を発祥の地とする高等学校も複数あるなど、昔から教育を大切に考える風土が培われてきました。地方創生においても、「教育のまち長南」の再生を掲げており、

その総合戦略に、渡邊辰五郎記念館事業があります。今、渡邊辰五郎記念館基本構想検討委員会から、様々なご意見をいただいているところです。

今後、東京家政大学と連携し、ご協力をいただきながら、構想の具現化を図っていきたいと考えています。既に文化祭や、小学生の社会科見学などを通じて、大学との友好関係は築かれつつありますが、これからも、それぞれの人的、地域的資源を最大限に活用することで、「教育のまち長南」をアピールし、地域の活性化に繋げていきたいと考えています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

SADA^{SMILE}
No.18